

# 不便を楽しむ家





兵庫県姫路市の南東に位置している的形町。最寄り駅から徒歩20分ほどの場所には海水浴や潮干狩りが楽しめる海水浴場がある海辺の町である。住まい手は男性、ひとり暮らしのための木造平屋。実はこの方、数年前にも当社で明石に新築をした顧客である。前回の明石の住まいも、この的形の住まいも住まい手の考えである『何もなくていいねん』を取り入れた。すっきりと住まい手らしくありのまま過ごせる家となったと思う。

『何もなくていい』というところのいくつか特徴を説明したい。まず、入口に広々とした土間を設けた。ゆくゆくは敷地内で家庭菜園をするので、その道具や成った野菜を置くスペースにしたいという要望であったが、後に聞くと「暑い夜はここに布団を敷いて寝る予定」とのこと。ちなみに開口部に網戸と雨戸は取付けたが、ガラスサッシは不要とすることで設置していない。式台を上がると台所、風呂トイレ。続いて掘りごたつのある居間兼寝室。これだけである。間仕切るための建具はなく、風呂を除いて一続きとなっている。この時代、贅沢品ではなくもはや生命維持装置とも言えるエアコンはこの家にはない。照明器具もコンセントに電球を接続しただけのシンプルな明かりが数箇所のみ。これは出来るだけ電気を使わずに暮らしたいという住まい手の思いからであるが、現代の家において当然と思われる要素が少ないというのは何やら不便そうである。しかしそれを実現してもなお快適に過ごせるよう、建物の遮熱、断熱、調湿をより重要なポイントとして設計した。住まい手が移り住みまだ日は浅いが、『快適に不便を楽しめる』よう願っている。



- 設計概要
- 構造：木造平屋
- 敷地面積：328.53㎡
- 延床面積：51.34㎡
- 外部仕上げ
- 屋根：ガルバリウム鋼板
- 外壁：そとん壁
- 内部仕上げ
- 天井：和紙壁紙
- 壁：和紙壁紙
- 床：杉無垢フローリング張